

(議長)

次に、室井議員の発言を許可いたします。

「室井議員」

はい。議長。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

はい。えーと、2問質問いたします。

まず、最初に、本年8月24日に開催された全員協議会において配布された、公共施設等の長寿命化計画、1建物編、2公園・遊具施設の業務報告の中から、今後、厳しい対応が要求される人口減少対策と地域・地区の活性化という、ある意味では相反する課題とどう整合性を図りながら、まちづくりを進めていくのか、住民サービスの観点から大きな判断力が必要と考えられます。

人口減少に対する決定的な有効策を中々見渡せない、そういう状況の中で、最近の報道関係を見ると、人口減少が続いていた地方の小さな町が、人口増に転じている例も紹介されております。

これは単に、施策だけで無く、また財政の手厚い保護のみでなく、やっぱりユニークな提案、ユニークな事業、そういうものと合わせて自然環境を含めた立地条件が大きく影響を与えるものと考えております。

公共施設の長寿命化計画は、単に施設の修繕、改修のみではなく、地区・地域が如何に元気に継続できる拠点施設として有効なのかなど、町づくり全体の中での位置づけを図りながら、具体的な実施計画を検討すべきと考えますが所見を求めるものであります。

以上、まず。

(議長)

町長。

「町長」

室井議員からの公共施設等長寿命化計画策定と事業実施に関するご質問にお答えいたします。

当計画は、多くの公共施設が老朽化する中で、将来の利用状況や維持管理コスト等を考慮した適切な配置と持続性を確保することを目的に、各施設の具体的な対応方針として長寿命化改修などを施すことにより、中長期的な維持管理等に要する費用の縮減、平準化を図るものでございます。

1点目の人口減少対策とまちづくりの整合性に関するご質問でございますが、第2期江

差町人口ビジョン、第2期江差町まち・ひと・しごと総合戦略を包含する、第6次江差町総合計画や各種まちづくり計画、当長寿命化計画などを推進するためには、私の3期目の所信表明でも申し述べましたように「最小の経費で最大の効果をあげる」という基本理念、基本原則の下、中長期的なコストの縮小と予算の平準化を図りながら、一つひとつの施策を着実に推進することが大事なものと認識しております。

また、将来にわたり持続可能な町であり続けるためには、全ての施策に均等に力を注ぐのではなく、戦略的な視点で施策を重点的に推進することも欠かすことができない視点と捉えているところでございます。

2点目の人口減少に対する施策の在り方に関するご質問でございます。

議員ご指摘の「財政の手厚い保護に加え、ユニークな政策と自然環境が影響を与え、人口減少から増加に転じている取組」につきましては、正に成功例といえるものでございます。当町の人口対策を図るうえでも、産業や医療・福祉・教育などの生活環境の充実のみならず、文化・歴史・自然・観光資源など「江差らしさ」「江差の地域性」を捉えた独自性のある施策の展開が必要と考えております。

3点目の本計画の実施計画に関するご質問でございます。

「事業実施の際、地区・地域が元気に継続できる拠点施設なのか、などの視点に立つべきで、単なる施設の修繕・改修ではない」という議員のお考えは、私も意を同じくするものでございます。人口減少と高齢化が進行し、多くの公共施設が老朽化している状況において、これまでと同様に全ての施設を維持していくことは、非常に困難なものと捉えておりますが、地域集会施設などの地域コミュニティ活動の拠点となる施設につきましては、利用状況等を踏まえつつ修繕等を講じて継続利用することとしているところでございます。

ご質問の実施計画につきましては、本計画に令和4年度から13年度までの整備内容を登載しておりますことから、新たに作成せず随時見直しを図りながら、本計画の推進を図るものとしています。

以上、公共施設等長寿命化と事業実施に関するご質問にお答えいたしました。議員がご指摘されている「人口減少」や「まちづくり」といった大きな視点から本長寿命化計画を推進するためには、財源手当のみならず様々な計画との整合性を図ると同時に、施設を所管する各課それぞれが、関係する部署・機関・地域住民などとの連携・情報共有を強く意識し取り組むことが必要不可欠なものと考えておりますので、ご理解願えればと思います。

「室井議員」

はい。議長。

(議長)

はい、室井議員。

「室井議員」

はい。すみません、あの一、再質問させて貰います。

あの一、政策をですね、より具体的に進めて貰うためにですね、再質問いたします。

まずですね、長寿命化計画策定業務はですね、多分、役場の中の管理職でですね、議論して、積み上げたもので、私は、なく、職員の関与というのは、極めて少ないのかなと私は思っております。まちづくりを進める観点から、今後ですね、一層の各課連携を進める必要、実情をしっかりと認識ですね、多様性、地域性に考慮した事業実施計画の採用、検討をすべきだと考えます。

実はですね、今日の函館新聞、上ノ国ですね、あの一、温泉施設の、湯ノ岱ですね、事案載ってます。ご覧になってますか、皆さん。ね、これ、すごくて、いい役場の答弁だと私は思っていました。それと、今月の9日、道新の記事。これ、ぬくもり温泉閉館方針とはっきり書いてますね。

いいですか、ここ勉強して貰いたい。今どうこうって言わない。

長寿命化計画、貰いましたね、議員全員。課長方も全員持ってるっしょ。これにはね、ぬくもり温泉ね、建物番号109番、令和6年、長寿命化改修って載ってますよ。この新聞記事とね長寿命化計画、どっちが正しいんですか。私は考えがありますよ。再々質問までしたいんですけど、ここをね、はっきりして貰いたいと思いますよ。

それと、この保養施設。道新の記事、私も初めて行って見ました。中にも入って、ちょっと見ました。すごい、いい温泉なんですね、この温泉。しかも秘境となってる。周りの、ちょっと悪いけど、古い公営住宅とか改修して、解体してですね、少し環境整備してやると、高齢者だけでなく、色んな方も訪れると思いますよ。美肌の湯、なーんてゆったらですね、皆さんなんか、男性は分からないけど、女性の皆さんはですね、やっぱり行きたくなるどこでないですか。

こういう施設こそですね、ちゃんと残してですね、ほかの予算少し削ってもですよ、思い切った改修、保存すると言うぐらいのね、町の考え方無いんですか。こういう弱いところだけですね、問答無用で閉館するとか、そういう考え有ったら、ほかにやる事がいっぱいあるんじゃないですか。私は言いたいです。むしろ、少しぐらいの改修で間に合わないなら、大規模な改修をしてですね残していく。たった5年間で400万ですよ修繕費、1年間で80万ですね。自分のね、身を削ってもですね、こういうものは守ってやると、それぐらいの意気込みが行政に無かったらね、誰も付いて来ませんよ。

副町長、そこは思い切ってね、今すぐ、正確なね、言えない事も有ると思います。でも、上ノ国の副町長、いい答弁ですよ。少しずつ、ね、お金出しても守って行きたい。読んでますね、今日。

今日のこういう考え方を持って、地域貢献していく。まして田沢のここですね、今、道の駅・海の駅出来ると、あの施設はちょっと弱体しますよ。

やっぱり地域にね、あまり寂しい思いさせる事は無いと思うんですけど、副町長いかがですか。答弁して下さい。課長はいい。

(議長)

副町長。

「副町長」

はい。あの一施設の長寿命化計画、本当に議員おっしゃる通り、修理・修繕だけの話には、終えて行く話ではございません。まあ、いずれにしても、各課長のみならず、きちっとそこは横断的に単なる修理・修繕でなくて、魅力あるまた施設に生まれ変わるべき施設も有るだろうというふうに思いますんで、その辺は進めて参ります。

それで、折角、今、室井議員から、ぬくもり温泉のご質問を頂きましたので、えー先般、新聞報道がされまして、えー地域の皆さん、それから利用者、更には、まあ議会にもご迷惑かけたなあというふうに思って、お詫び申し上げますけども、この議会の場でのご質問でございますので、議会議員の皆様にも誤解のないように、あの、町の今現在の考え方について、整理した形で、お伝えし答弁させていただきます。

えー、現在の温泉施設の老朽化から出来るだけ早い段階での閉鎖を方針としつつも、近い場所に社会福祉法人が運営する温泉施設が有ります事から、その法人側の協力を得られた段階で、地域に相談していくというのが前提でございます。

この前提条件としては、例えば町営の温泉利用時間帯と社会福祉法人運営の時間帯などが違いますことから、どの程度、例えば町営に近い形で利用できるのか、当然、社会福祉法人に全て任せるという考えではございません。

また、バス運行など、現在の利用者などにも不便を与えない事などの協議を内々に進めて行く状況でありました。

現在、社会福祉法人とは、所管課で相談協議が始まったばかりの状況でございますが、そういう状況の中で、内部的にも協議が積み上がらない中で、廃止が先行して地域に伝えていった事は事実でございます、改めて地域や利用者を含め、ご迷惑を掛けました。

いずれにしましても、当初から、また今後においても地域や利用者にも、理解が得られる状況になるまでは、廃止とはなりません。

更に、一定の仮に目途が立ったとするならば、事前に議会の全員協議会等にお諮りする課題にもなりますので、まずは、現時点で正直な考え方をお伝えして、答弁とさせていただきます。

「室井議員」

議長。

(議長)

はい、室井議員。

「室井議員」

町長ですね、あの一、私なんもね、こう責めてどうこうって言うんじゃないんだよ。いいですか、副町長。これとまず整合性合わないような答弁をするなってこと。

ね、長寿命化計画109番の建物のところ見てみなさい。令和6年長寿命化改修って載ってるんだよ。おかしいんだ。だからそれはね、多忙であったからだと思う。

それで最後に言うけど、ね、3問目ですから、町長ね、若い人大事、子供も大事。一般質問にあります。でもね、今まで頑張って来たさ、高齢者にね、対してもね、温かい想いを持たなきゃ駄目だ。

新地のね、一週間くらいのうちですよ、高齢者の方、腰曲げてね、タライに風呂敷で包んで、松ノ湯に入って行きましたよ。

今回もね、予算付いてますね。あの、高騰対策、燃料の高騰対策とか30万。ね、そうなる。

やっぱり、そういう今まで頑張って来た人方の、そういう高齢者に対するね、温かいね、想いをね、ちゃんとね、こういう施設を通じて、伝えてやって貰いたいと思いますよ。

町長、如何ですか。

(議長)

はい町長。

「町長」

えー今、室井議員から、ぬくもり温泉の事に関してのご質問を頂いておりますけれども、先程、副町長が答弁したとおりに付け加えさせていただきますと、今、その長寿命化計画の整合性がどうなんだと言うご指摘を頂いているところでございます。

正に、その通りかなというふうに思う一方でですね、こういうものは政治決断をして行かなきゃいけないのかなというふうに思ってますね、そこではですね、事務的な方針を、長寿命化の方針を掲げさせて頂いておりますけれども、そういう政治決断という事ではですね、私が責任を持って、覚悟を持って、やらなきゃいけない事もあるのではないかと、いう事で、ご理解を頂ければなというふうに思います。

そういう中で、ぬくもり温泉の意義というところを、まあ今、上ノ国町さんとの比較の中でのお話も頂いておりますけども、上ノ国町さんも、まあ新聞記事、あの答弁を聞いた訳では無いので、正確かどうかは分からないですけど、新聞によると、まあ廃止も検討しているけれども、存続を模索していると言うようなニュアンスだったかなというふうに思います。

ニュアンスとしては、我々もそれは、あの一あまり大きく変わらない、なのかなと。廃止を検討しているけれども、どうしていくかという事を今模索しているという段階だというのが率直なところでございます。

そう言う中で、湯ノ岱と大きく違うのは、隣りに温泉施設、これは公共では無いですけども温泉施設があるという事。その公共がやる部分、また公共以外がやる部分、どうやって、こう棲み分けをして行くのかという事も考えて行かなければならないのかなというふうに思います。

そういう意味で、公衆浴場の在り方というのは、非常に私は大事な役割があるというの

は、室井議員と同じ気持ちでいるところがございます。

そう言う事によって、コミュニケーションであつたり、地域の繋がりが醸成されて行くという事も非常に強く感じておりますので、じゃ源泉でいうとですね、その隣に有る繁次郎温泉と源泉は一緒な訳ですから、温泉の質は一緒なはずな訳で、その、やはりその役割として、公共的な、そういうコミュニティの場として、えー、ぬくもり温泉が必要なのかどうかという事が議論の一つなのかなというふうに思っています。

先程来、副町長も答弁しておりますけども、この件に関しては、しっかり丁寧に地域の皆さん、町民の皆さんと議論しながら、方向性を持ちながら決断をさせて頂きたいなと思います。

ただですね、やはり人口減少の中で、集約、色んなものを集約して行かないとですね、厳しい状況にあるというのも、片や現実であります。そういうところではですね、ある意味では民間に任せて行けるところはですね、民間にお任せして、公共がやる部分をなるべく少なくして、大きく住民生活に影響が出ないような財政運営を考えて行かなきゃいけないのかなというふうに思っています。

そう言う中で、室井議員がご指摘の大きなまちづくりの視点、そう言う事が大事だなと思いますんで、今後ともですね各課連携しながら、対応して行きたいと思いますので、ご理解頂ければと思います。

(議長)

いいですか。

「室井議員」

はい。

(議長)

えー、以上で室井議員の、ん。あー2問目か。すいません。

もとい、室井議員。

「室井議員」

ちゃんと時計見ながら、私やっていますので。ちゃんと協力しますので、ちょっと待って下さい。

はい。それでは2問目行きます。

まあ、江の島構想の全体計画を議会にいつ提出出来るんだという、私のね、優しい思いやりなんですよ。ね、早く出して貰いたいなあと、私達の意見も聞いて貰いたいなあと言う思いでします。

今日まで私を含めてですよ、町長の提案した構想に対し、実に多くの議員の質問と質疑、時間を費やしてきました。

構想の具現化へ向けた動きとして予算化されたのは、令和3年第2回定例会において、

基本構想策定経費として、総務省地域力創造アドバイザー大山氏への委託費830万円。更には本年第1回定例会において基本計画策定費として、同じく大山氏へ旅費を含めて委託料590万が予算計上され、可決されております。

私は、事業計画案がコンクリート化されない段階で、議会との協議が必要でないかという意見を何度か述べ、担当課長は、まちづくり推進課長ですね、苦勞しながらも、それなりに理解を示しておりました。

しかし、年度内残り期間約3カ月です。果して議会との協議や関係者の調整などが可能なのか、多少疑問を抱いております。

江の島構想は全体像があつてこそ夢のある構想であり、それが不可能であれば、単に施設の建替え・改修になる可能性は十分あります。

社会状況の変化や江差町の財政事情などによって、多少の変化は常にあり得ます。

基本的判断の軸足をどこに置くのか、その判断と町長の、教育長、あつ教育長す、副町長の、そう言う大幹部としての思いは非常に大きいと思います。

議会との協議、構想の全体像に対する考え方を現段階で、話せる段階で、説明をして答弁をして貰いたいと思います。以上です。

(議長)

はい町長。

「町長」

室井議員からの2問目、北の江の島構想に関するご質問にお答えいたします。

令和3年第2回定例会で補正予算を議決いただき、総務省地域力創造アドバイザー大山氏の力を借りて、「北の江の島拠点施設整備基本構想」を策定し、現在、その基本計画策定にあたっては同じく支援をいただいているところです。

さて、議員からは基本計画が固まる前に議会と協議すべきではとの、ご懸念のご質問でございました。

計画の検討にあたっては、大局的に申し上げますと、先ず、拠点施設の機能をどのようにするか、あるいは整備後における施設利用者が大幅に増えることが予想されることから、国道の交差点改良をどのようにしていくのか、また、港湾道路をはじめ港湾施設をどのように活用できるのかが挙げられます。

後者の2点に関しましては、現在所管である国の機関と協議中ですが、いずれも町の計画をご支援いただきながら、どうあるべきかについてご検討いただいているという状況でございます。

続きまして、町が進める拠点施設の基本計画につきまして、少し説明をさせていただきます。

今年3月に基本構想を策定致しました。海の駅開陽丸に、新たな道の駅機能を付与しながら、観光拠点や地域住民が集う場所としての機能を明確にし、その規模や運営についてのイメージを議会にお示したところでございます。

特に、施設の中心的な機能としては、四季を通じて子どもたちが集い天候を気にせずに

走り回れる室内の遊興施設を大きな柱とし、親子連れにとって道南エリア満足度ナンバーワンの道の駅を目指した施設とする旨をお示したところでございます。

大山氏には、町民や近隣住民、広く道南圏の皆様が足を向けたくなる場とするため、例えば購買部門の在り方や他にない特徴的な機能に関してどうすべきか、あるいは施設整備後の運営体制の在り方として、開陽丸青少年センターや北海道江差観光みらい機構がどのように担うべきかなどを、大山氏の知見や人脈を生かしながらサポートを頂いているところでございます。

以上に関しまして、2月、来年の2月初旬には、その進捗状況を議会に説明し、ご意見を頂けるよう準備を取り進めて参りますので、今暫くお待ち頂きますようお願い申し上げます。

また、今回のご質問では、北の江の島構想に関する全体像についても言及を頂いております。

3月に策定を終えた、基本、えー失礼しました。拠点施設の構想において、施設だけではなく拠点を中心に据え、かもめ島エリアや港湾エリア、いにしえ街道との関連などの全体像について、関してお示しをさせて頂きました。

かもめ島は、町民のシンボルであるとともに、令和3年度に実施した「江差町の観光動態調査」では、観光客にとっても江差町随一の観光資源です。かもめ島においてアウトドアを楽しむために訪れる、江差町を訪れる、訪れる、万が一に雨でも道の駅で、屋内でのコンテンツを楽しんで頂く。

また、いにしえ街道には、お菓子やケーキのお店が点在していますので、それを活用し「スイーツ街道」として巡って頂くなど、整備する施設を拠点に人の流れと域内の滞留を作り出して、地域経済の活性化につなげるための準備をして参ります。

加えて、今回の施設整備が全体、構想の全てだとは考えていません。開陽丸記念館そのものやいにしえ街道における魅力度アップなどを実施しなければ、室井議員ご提案の夢ある構想とはなっていないものと考えています。

いずれにいたしましても、現在策定しているのは拠点施設整備に向けた基本計画であり、施設機能の基本的な方向性について、まとめて行くことになると考えています。

完成前にご協議させて頂くのは勿論、基本計画完成後におきましても、基本設計、実施設計と移って参ります。

その都度、各計画をたたき台にしながら、議会の皆様からご意見を頂く事で、しっかり形作って行きたいと考えております。

それまで、今暫くお待ち頂きますよう、ご理解願いたいと思います。

「室井議員」

はい、再質問。

(議長)

室井議員。

「室井議員」

町長、あの一前向きなね、あの一答弁だと私は思いますよ。

それでね、何故質問するのか。

我々、いいものを応援したいんですよ。実現したいんですよ。他の町でも今、色々とやっていますよね。大規模に道の駅。負けたくないんです。ただ、それだけです。

江差はね、どこにも無いって言うぐらいね、そう言う自信持ってね、誇れるね、施設にやって貰いたい。その、対して全力で我々もね、協力すると言う事をですね、申し上げて、副町長、あなたはね、事務方最高責任者だ。

いいですか、各課ねえ、やっぱ連携取って、どうなってんだ、こうなってんだ、ちゃんとね、その責任をきちっと果たして、いい構想を創り上げて貰いたい。副町長。

（議長）

はい、副町長。

「副町長」

はい、あの一、簡潔に申し上げます。

えーと、まあ、町長の答弁、あの一、した内容は、1つは2月初旬を目途に、えーご説明を申し上げる場を設けます。その上でまた意見を頂きます。

で、あえて、室井議員のご質問にお答えするならば、道の駅、新たな道の駅として、国道沿いから1番この江差のシンボルのかもめ島という所に、奥まっpegと云うか、そう言う所に拠点が出来る訳です。これもまた立地場所としては、かなり差別化できる施設になる。また、かもめ島と云う、今マリリンピング含めてですね、整備が進んでいると。加えて、開陽丸って言う、まあ、あの船体の色々修理・修繕の問題が、今、抱えてございますけども、いずれにしても、トータル的に、あの2月初旬には、議員の皆様にお示しをして、今、力強いバックアップのお声も頂きましたので、あの財源問題をここで、どうのこうの言う場ではございません。

あの一、精一杯、各課連携して、あの一、とにかく、これ以上大きな施設整備は、将来的には中々難しいだろうと言うふうに思っていますんで、最後の力をを振り絞って頑張っpegて行きたいとこの様に思っています。以上です。

（議長）

いいですね、室井議員。

以上で、室井議員の一般質問を終わります。

午後1時まで休憩致します。